

## 第1学年英語科

## モジュール授業の実際

50分授業と25分授業との指導内容を比較したものを、以下に提示する。

### 50分授業：基本文の運用を目的とした言語活動を中心に

0 10 20 30 40 50(分)

小 テ ス ト	基本文の導入	基本文を使った言語活動 ・インタビュー ・ペアワーク ・ジェスチャーゲーム等	内容理解 ・本文の内容理 解	新出単語を 用いたピン ゴゲーム
------------------	--------	---	----------------------	------------------------

この授業で身につけたい力	基本文を用いて、相手に正しく伝えたり、答えたりできる。 ビンゴゲームにより単語の定着を図る。
学習のポイント	インタビューやペアワークの活動を通して、英語を使う意欲を高め、基本文の運用力を養う。
評価	既習の単語と基本文が書けているか、小テストを通して評価する。 基本文を理解し運用できるか、言語活動の様子から評価する。

### 25分授業：読みとまとめを中心とした授業

0 6 19 23 25(分)

新出単語	読み練習	読み発表 (評価)	自己評価表 記入
------	------	--------------	-------------

この授業で身につけたい力	新出単語の意味を覚え、音読することができる。 教科書本文を音読できる。
学習のポイント	フラッシュカードやワークを使い、ペア練習などを通して、新出単語の定着を図る。 音読練習にバリエーションをつけ、リピーティング、オーバーラッピングなどを活用して、音読の徹底練習を行う。
評価	読み発表から評価する。 自己評価表から評価する。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">学習のながれ</div>			
1/7	§ 1 命令文の導入 コミュニケーション活動	英語科で身につけたい力	英語を聞くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて話し手の意向などを理解できるようになる。 英語で話すことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようになる。 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようになる。 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようになる。
本時	§ 1 新出単語、読み	この単元で身につけたい力	命令文を理解し、運用することができる。 which, where の疑問文が正しく言えて、正しく答えられる。 位置を表す前置詞 in, on, under を知り、正しく運用することができる。 音読練習を徹底し、本文を読むことができる。
2/7	§ 1 本文まとめ		
3/7	§ 2 which の導入 コミュニケーション活動	今回の学習のポイント	命令文の導入では、理解を助けるために、ジェスチャーや絵を多用する。 25分授業では、「読み」の定着をはかる。また、本文のまとめの時間としてそのセクションに適した活動または練習問題等を準備し、定着をはかる。 新出単語の定着を図るために、ピンゴゲームを取り入れる。 学習した言語材料を使って対話ができるように、プリントを準備しコミュニケーション活動の充実をはかる。 where の使い方と位置を表す前置詞の定着を図るために、2種類の絵を使ったインフォメーション・ギャップの英語活動を行う。
4/7	§ 2 新出単語、読み	評価	which や where の疑問文を使って意欲的に対話できているか、活動しているときの様子を見て評価する。 「読み」の自己評価表により、自己分析をさせるとともに音読練習を課題とし、家庭学習にもつなげる。 基礎的な知識が身についているかどうか単語・基本文テストや定期考査で評価する。
5/7	§ 2 本文まとめ		
6/7	§ 3 where の導入 コミュニケーション活動		
7/7	PROGRAM5 まとめ		
7/7	§ 3 新出単語、読み		
7/7	§ 3 本文まとめ		

25分授業      50分授業

## 第 1 学年 英語科モジュール本時案

( 1 ) 単 元            Sunshine English Course1   Program5- 1

( 2 ) 本時の指導観

本文は初めて飛行機に乗った由紀が不安な気持ちでいる中、隣の乗客に話しかけられ、リラックスしていく場面である。この状況を踏まえた上で、生徒にしっかりと音読練習をさせたい。

( 3 ) 主眼

リピーティング、オーバーラッピングなどを取り入れ、教科書本文を繰り返して読み、音読の定着を図る。  
自己評価表にて自分の活動を振り返り、家庭学習や次時の授業につなげる。

( 4 ) 準備

・本文CD                    ・フラッシュカード                    ・ピクチャーチャート

( 5 ) 本時の展開

学習活動・ 学習内容	学習 形態	指導上の留意点	モジュール学習の手だて 評価	配 時
1 あいさつをする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">大きな声で読もう。</div>	一斉	・英語の授業の雰囲気作り に心がける。	後半 25 分の授業では 座ったままの姿勢で あいさつをする。	1
2 単語の練習をする。 ・フラッシュカードを使って単語の読みと意味を確認する。 ・ワークの一覧表を使って問題を出し合う。	一斉  ペア	・単語の定着をはかるため にペアで練習をさせる。	*リピーティング、オーバーラッピングなど単調にならないように工夫する。	5
3 本文の読み練習をする。 ・一斉読み ・ペア読み	一斉 ペア	・大きな声で読ませる。  ・机間指導をし、生徒の手助けをする。	表：対話文を気持ちを込めて読むことができる。 <発表チェック> 関：意欲的に読み練習に取り組む。 <様相チェック>	13
4 本文読みの発表をする。				4
5 自己評価表に記入する。	個			2

\* 「リピーティング」： 英文を聞いてくり返す。

\* 「オーバーラッピング」： 英文を見ながらCDから流れてくる英語にかぶせるようにして同時に音読する。